

## この物語の背景と登場する人たち

この物語は、「つながり町」という架空の町に暮らす人たちが、コロナ禍によって失われがちな「つながり」を切らないために住民一人ひとりの「自分に出来ること」を出し合って新しいつながりを創造し、成長していくというお話です。

「これまで（コロナ禍が起こる前）」のつながりを再考しながら、「今（コロナ禍）」に必要なつながりを模索して、「これから（コロナ終息後）」の新しいつながりを提案していくというのが、この物語の意図するところです。

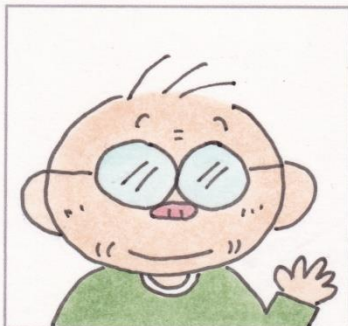
この物語には、嘘があります。けれど、そこには嘘でなければ伝えられない真実があります……。

### 登場する人たち



#### < のすたる爺さん（姓名不詳） >

広島生まれの82歳。10年前に愛妻を亡くし、5年前に息子夫婦が暮らす「つながり町」へ移住。ツネさんのお漬物が好物で、これさえあれば茶碗3杯のご飯は軽くいける。この町で知り合った同郷の「ふぁんた爺さん」といつも一緒に行動している。



#### < ふぁんた爺さん（姓名不詳） >

広島生まれの74歳。サラリーマン業を早期に退職し、愛妻と「つながり町」へ。夢だったラーメン屋「かばち」を開店し、過去には行列のできるラーメン店としてTV取材を受けたこともある。2年前に愛妻をなくし、あえなく閉店。店の常連客だった「のすたる爺さん」は無二の親友である。



<吉田ツネ（ツネさん）>

92歳のスーパーおばあちゃん。シニアカーと車いすを駆使して町のあらゆるところに出没。料理の達人として知られ、特に漬物は絶品でファンも多い。町のご意見番的な気風のいい面もあるが、乙女チックなところもあり……じつは、恋焦がれる男性が地域の中に……いる!?



<石黒源（ゲンさん）>

生産者直売所の代表であり、生産者組合の組合長。面倒見はいいが頑固な性格。地域活動に口を出し過ぎて、自治会役員や民生委員らとトラブルを起こすことも。しかし、地域のお年寄りからの評価は高く、「ゲンちゃん」の愛称で愛されている。



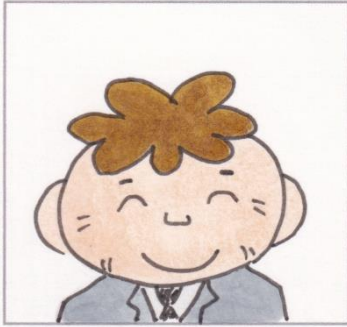
<田村順>

25歳独身。父親と「ファーム田村」を経営。無農薬野菜の栽培や養鶏を生業としている。生産者直売所の運営に関わる中で、地域の高齢者の暮らしに関心を抱き始める。新しいもの、新しいことが大好きで、思ったらすぐに実行しないと気が済まない性格。その場合、いつも「カタチから入る」。



<田中伸治>

田村順とは幼馴染で同級生。東京都きずな市（架空）の社会福祉協議会職員。田村順と共にユーチューブチャンネルを開設する。つながり町で一人暮らしをしているおばあちゃんのがきが気になっている。



<森田健一（ケンちゃん）>

森田タケの息子。東京の食品加工会社に勤務。つながり町で一人暮らしをしている母親（森田タケ）のことが常に気になっている。石黒源（ゲンさん）とは、歳は違うが幼馴染みで、実の兄のように慕っている。ときどき電話で連絡を取り合い母親の様子を知らせてもらっている。



<森田タケ（おタケさん）>

森田健一の母。生産者直売所の常連客で、吉田ツネ（ツネさん）とは茶飲み友達。月2回、直売所で買った野菜や漬物を健一へ送っている。



<つながる君（姓名不詳）>

のすたる爺さんの孫で小学6年生。つながり町のボランティアセンターが実施するヤングボランティアの活動に参加。子どもによるボランティアグループを立ち上げたいと思っている。趣味は、囲碁・将棋。好きな食べ物は、ラーメンでふぁんた爺さんの作るラーメンをもう一度……と思っている。



<かえで&バブちゃん>

のすたる爺さんの孫（かえで）とひ孫（バブちゃん）。フランス・パリ在住。おじいちゃんLOVEのかえでは、ゴールデンウィークに帰国し、のすたる爺さんと数日過ごすことを楽しみにしていたが、コロナのため帰国できず……。



<北野三郎（サブちゃん）>

町の新聞屋さん。もともと大工をしていたが、50歳半ばに奥さんが病に。看病のため大工を辞めて今の仕事を始めるが、3年前に奥さんが他界。ゲンさん、ふぁんた爺さんと三人で一人暮らし男性の会『やもめ会』を結成。「喫茶つながり」のマスターが作るタマゴサンドとコーヒーをこよなく愛す。



<篠田錬三郎（マスター）>

「喫茶つながり」のマスター。花の団塊世代で、寡黙にして饒舌。若い頃には、喧嘩ばかりして親を泣かせていたとのことだが、今はそれを感じさせないほど温厚。娘と孫と三人で暮らしている。娘はシングルマザーで喫茶の手伝いを。孫の男の子は中学二年生で、ユーチューバーにあこがれている。



<本田恵理子>

専業主婦歴30年。手話サークルの代表を務めながら、ふれあいサロンなどのボランティア活動へ積極的に参加。明るい性格で根っからの世話焼き。そういった性格が認められ3年前より、つながり町社会福祉協議会で生活支援コーディネーターとして働いている。



<鈴木連>

「喫茶つながり」のマスター篠田錬三郎の孫。中学2年生でありながらパソコンゲーマーとして活躍。コンピューターグラフィックなど、パソコンに関連する何某についての才能にたけている。ゲーマーとして海外遠征に行きたいという夢を持っており、英語の勉強に励んでいる。